

科目名	相談援助演習Ⅰ					開講 キャンパス	神 埼
担当者	加藤 稔子・笠 修彰・土井 幸治・久保 英樹						
開講年次	1	開講期	前期	単位数	1	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	相談援助とは、生活課題を抱える人々を社会のつながりのなかで支援する方法である。また相談援助の基本技術であるコミュニケーション技術は、現在社会に対応する力としても重要であるとされている。本授業では、コミュニケーションの構造を説明し、人の話を聴く・話す能力を養うための演習を課す。また、価値観や地域社会と人々の生活との関連が考えられるためのグループ討議を行う。						
授 業 の 到達目標	①知識・理解 ・コミュニケーションの基礎（言語的、非言語的）を理解する ・価値観とは何かを理解する ・地域資源（自治組織や医療福祉関連施設・サービス）について知る ②思考・判断 ・自分のイメージ（印象）について客観的に考えることができる ③関心・意欲・態度 ・地域社会と人々の生活の関連について考える ④技能・表現 ・演習を通して、聞く・話す技術を身につける						
学習方法	グループ討議やロールプレイを中心とした演習方式で行う。						
テキスト及び参考書等	特に指定しない。必要に応じ資料等を配布する。						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート	◎	○	○				40
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度	○	○	○	◎			60
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	オリエンテーション						
第 2 週	自己覚知－自分のイメージ・他者から見た自分－						
第 3 週	自己覚知－対人援助者としての自分－						
第 4 週	自己覚知－まとめ－						
第 5 週	価値観①－価値観交流－						
第 6 週	価値観②－対人援助者としての見方・考え方－						
第 7 週	価値観③－まとめ－						
第 8 週	コミュニケーション①－コミュニケーションの構成－						
第 9 週	コミュニケーション②－非言語コミュニケーション－						
第 10 週	コミュニケーション③－言語的コミュニケーション－						
第 11 週	コミュニケーション④－まとめ－						
第 12 週	地域の理解①－地域と地域住民について考える－						
第 13 週	地域の理解②－地域の特性と福祉ニーズについて考える－						
第 14 週	地域の理解③－まとめ－						
第 15 週	まとめ						
第 16 週							
備 考	【授業外学習について】 事前学習:前回取り組んだ課題やワークシートについて整理し、調べ学習などを通して疑問を解決しておく 事後学習:授業で取り組んだテーマに関して、専門書や専門雑誌を用いて理解を深める						